

Linux版collectsa.sh 採取情報一覧

Linux版collectsa.shが採取する情報をまとめた資料です。

ESMPRO/ServerAgentはESM/SA、ESMPRO/ServerAgentServiceはESM/SAS、ESMPRO/ServerManagerはESMPRO/SMと表記します。

ESM/SAとESM/SASをあわせて、Agentと表記します。

collectsa.shは、実行されたカレントディレクトリ配下にcollectsaディレクトリを作成して情報を収集し、collectsa.tgzファイルを生成します。

SELinuxが有効である場合、実行されたカレントディレクトリ配下にcollectsaディレクトリが残る場合があります。

実行されたときにカレントディレクトリ配下に、collectsaディレクトリとcollectsa.tgzファイルが存在する場合は削除して、新規作成します。

更新日:2023/12/26

No.	分類	採取先ディレクトリ(tgz内)	取得先(行頭＂#＂はコマンド)	説明	備考
1	一時格納先	collectsa		収集する情報の一時格納先	
2	ログ情報	— before_collect	(ディレクトリ生成)	(ディレクトリ)	【ESM/SA Ver.4.5.12-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】collectsa.sh内のコマンド実行により、ログがローテートされる前に採取します。
3		— *ntagent.*	# /bin/cp -af /opt/nec/esmpro_sa/log/*ntagent*	ntagentまたはESMntagentのログ	【ESM/SA Ver.4.5.12-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】ログを採取する順番の見直しました。
4		— vmkernel*	/var/log/vmkernel*	システムログ	【ESM/SA Ver.4.5.12-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】ログを採取する順番の見直しました。
5	collectsa.sh	— collectsa.sh	collectsa.sh	実行されたcollectsa.sh	
6	coreファイル	— Core	(ディレクトリ生成)	(ディレクトリ)	【ESM/SA Ver.4.5.28-1以降】【ESM/SAS Ver.1.1.3-0以降】既定値でプロセスダンプを採取しません。引数に”-core”を指定する必要があります。
7		— esmpro_sa	/opt/nec/esmpro_sa/core*	Agentのプロセス異常終了時のcoreファイル	【ESM/SA Ver.4.5.28-1以降】【ESM/SAS Ver.1.1.3-0以降】既定値でプロセスダンプを採取しません。引数に”-core”を指定する必要があります。
8		— root	/root/core*	/root/配下のcoreファイル	coreファイルがAgentのプロセス以外の場合、採取したcoreファイルにあるメモリ情報に、ユーザデータが含まれている可能性があります。【ESM/SA Ver.4.5.28-1以降】【ESM/SAS Ver.1.1.3-0以降】既定値でプロセスダンプを採取しません。引数に”-core”を指定する必要があります。
9		— rot	/core*	/rot/配下のcoreファイル	coreファイルがAgentのプロセス以外の場合、採取したcoreファイルにあるメモリ情報に、ユーザデータが含まれている可能性があります。【ESM/SA Ver.4.5.28-1以降】【ESM/SAS Ver.1.1.3-0以降】既定値でプロセスダンプを採取しません。引数に”-core”を指定する必要があります。
10	デバイス情報	— dev	(ディレクトリ生成)	(ディレクトリ)	
11		— devinfo	# /bin/ls -al	/dev/配下のファイルリスト	「-nas」オプションを指定した場合、情報を採取しません。【ESM/SA Ver.4.2.26-1以降のFTサーバ】情報を採取しません。
12	システム設定ファイル	— etc	(ディレクトリ生成)	(ディレクトリ)	
13		— \$file	/etc/\$file	OS、ファイルシステム、設定ファイル等	以下のファイルを採取します。 \$file = anacrontab crontab host.conf hosts hosts.allow hosts.canna hosts.deny inittab ipchains issue ld.so.cache ld.so.conf logrotate.conf mtab mainte.conf modules.conf modprobe.conf modules.devfs printcap profile protocols resolv.conf services syslog.conf adjtime rsyslog.conf locale.conf  【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】ld.so.cache、ld.so.confとprintcapは採取対象外とする。
14			/etc/adjtime	ハードウェア クロックの設定	
15			/etc/anacrontab	ジョブをスケジュールするための設定ファイル	
16			/etc/crontab	cron ジョブの設定ファイル	
17			/etc/host.conf	名前解決する設定ファイル	
18			/etc/hosts	名前解決ファイル	
19			/etc/hosts.allow	接続を許可するホストアクセスファイル	
20			/etc/hosts.canna	ホスト、ユーザを制御するアクセス制御ファイル	
21			/etc/hosts.deny	接続を拒否するホストアクセスファイル	
22			/etc/inittab	ランラベルの設定ファイル、システムの動作状態を規定するラン・レベルごとに処理内容が記述されているファイル	
23			/etc/ipchains	IP ファイアウォールリングチェーン設定ファイル	
24			/etc/issue	ユーザーがターミナルにログインする時に表示される情報(ディストリビューション)	
25			/etc/ld.so.cache	検索したライブラリのキャッシュファイル	【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】採取対象外とする。
26			/etc/ld.so.conf	ライブラリを検索するディレクトリ一覧	【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】採取対象外とする。
27			/etc/locale.conf	システムワイドのロケールの設定	
28			/etc/logrotate.conf	ログのローテーションの設定	
29			/etc/mainte.conf	サーバマネージメントドライバの設定	
30			/etc/modprobe.conf	ドライバの別名(alias)を指定したり、ドライバ・ロード時のオプションなどを指定する設定ファイル	
31			/etc/modules.conf	カーネルモジュールのロードに対する設定ファイル	
32			/etc/modules.devfs	devfsに対するモジュールのロードに対する設定ファイル	
33			/etc/mtab	マウントされたデバイスを記録するために用いられるテキストファイル	【ESM/SAS Ver.2.0.0-0以降】RHEL7において、collectsa.shで/etc/mtabのリンク先を採取できるよう改善。
34			/etc/printcap	プリンタの設定ファイル	【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】採取対象外とする。
35			/etc/profile	環境変数と起動プログラムが記述されているファイル	
36			/etc/protocols	プロトコルとプロトコル番号 の情報を対応表を保持するファイル	
37			/etc/resolv.conf	自分のマシンが利用するDNSサーバの情報(IPアドレス)を記述するファイル	
38			/etc/rsyslog.conf	rsyslog の主な設定ファイル	

No.	分類	採取先ディレクトリ(tgz内)	取得先(行頭“#”はコマンド)	説明	備考	
39		-- \$dir/	/etc/services	サービス名とそこで使われるポート番号、プロトコル(tcp/udp)との対応 関係を記述したファイル		
40			/etc/syslog.conf	syslogd デーモンの設定ファイル		
41			/etc/\$dir	ESM/SAの実装情報、システム起動情報	以下のディレクトリ配下を採取します。 \$dir = cron.d cron.daily cron.hourly cron.monthly cron.weekly DianaScopeAgent esmpro init.d log.d logrotate.d necras pam.d profile.d rc.d security sysconfig logwatch snmp systemd firewalld	
42			/etc/cron.d	cron ジョブの設定ファイル		
43			/etc/cron.daily	毎日1回実行されるジョブの設定ファイル		
44			/etc/cron.hourly	毎時1回実行されるジョブの設定ファイル		
45			/etc/cron.monthly	毎月1回実行されるジョブの設定ファイル		
46			/etc/cron.weekly	毎週1回実行されるジョブの設定ファイル		
47			/etc/DianaScopeAgent	DinanaScopeAgentの情報		
48			/etc/esmpro	Agentのインストール情報		
49			/etc/firewalld	firewalldの設定情報	【ESM/SA Ver.4.5.28-1以降】【ESM/SAS Ver.1.1.3-0以降】 取得先のディレクトリ配下を採取します。	
50			/etc/init.d	デーモンを起動する ためのファイル		
51			/etc/log.d	logwatch用設定ファイル		
52			/etc/logrotate.d	ログのローテーションの設定		
53			/etc/logwatch	logwatch用設定ファイル		
54			/etc/necras	サーバマネージメントドライバ使っている設定ファイル		
55			/etc/pam.d	個々の認証が必要 なアプリケーションの設定ファイル		
56			/etc/profile.d	アプリケーション毎の設定が行われているファイル		
57			/etc/rc.d	ソフトの自動起動を制御するスクリプトファイル		
58			/etc/security	ユーザごとのリソースを制限できるファイル		
59			/etc/snmp	snmpサービスの設定ファイル	【ESM/SA Ver.4.4.48-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 取得先のディレクトリ配下を採取します。	
60			/etc/sysconfig	システムの構成を制御するファイル		
61			/etc/systemd	systemdモードのESM/SAの実装情報、システム起動情報	【ESM/SA Ver.4.5.12-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 取得先のディレクトリ配下を採取します。	
62			-- ld.so.conf.d	/etc/ld.so.conf.d	ライブラリのパスやインクルードパスが記述されるの情報	【ESM/SA Ver.4.2.26-1以降のFTサーバ】 取得先のディレクトリ配下にある“*.conf”を採取します。
63			-- openwsman	/etc/Pegasus/openwsman.conf /etc/Pegasus/openwsman_client.conf	openwsmanの設定情報	
64			-- opt/ft/snmp	/etc/opt/ft/snmp	ft-snmpの情報	【ESM/SA Ver.4.2.26-1以降のFTサーバ】 取得先のディレクトリ配下を採取します。
65			-- opt/nec	(ディレクトリ生成)	(ディレクトリ)	
66			-- raidcmd	/etc/opt/nec/raidcmd/\$file	Universal RAID Utilityの情報	【ESM/SA Ver.4.2.28-1以降】 以下のファイルを採取します。 \$file=raidcmd.conf 【ESM/SA Ver.4.3.6-3以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 取得先のディレクトリ配下を採取します。 \$file=*
67			-- raidsrv	/etc/opt/nec/raidsrv/\$file	Universal RAID Utilityの情報	【ESM/SA Ver.4.2.28-1以降】 以下のファイルを採取します。 \$file=raidapi.conf raidconn-storelib.conf raidsrv.conf 【ESM/SA Ver.4.3.6-3以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 取得先のディレクトリ配下を採取します。 \$file=*
68			-- N-code	/etc/opt/nec/N-code	アプライアンス(Intersec)モデル情報の採取	【ESM/SA Ver.4.5.4-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
69			`-- express.id	/etc/opt/nec/express.id	アプライアンス(Intersec)モデル情報の採取	【ESM/SA Ver.4.5.4-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
70			-- Pegasus	/etc/Pegasus/access.conf /etc/Pegasus/cimserver_current.conf	tog-pegasusの設定情報	
71			-- selinux	/etc/selinux	/etc/selinuxディレクトリ	
72			-- config	/etc/selinux/config	SELinuxの設定情報	セキュリティポリシー情報が格納されています。
73			`-- targeted	/etc/selinux/targeted	SELinuxの設定情報	
74		-- snmpd.conf	/etc/snmp/snmpd.conf or /etc/snmpd.conf or: /etc/snmp/snmpd.local.conf	SNMPの設定情報	コミュニティ名、IPアドレス情報が格納されています。	
75			-- snmp.conf	/etc/snmp/snmp.conf or /etc/snmpd.conf	SNMPの設定情報	コミュニティ名、IPアドレス情報が格納されています。 【ESM/SA Ver.4.4.48-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
76			-- vmwareout	vmware -v	VMwareバージョン情報	VMware ESXのみ場合、採取できます。
77			-- X11	(ディレクトリ生成)	(ディレクトリ)	【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】 採取対象外とする。
78			-- XF86Config.*	/etc/X11/XF86Config*	Xserverの設定情報	【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】 採取対象外とする。
79			`-- XF86Config.conf	/etc/X11/xorg.conf	Xserverの設定情報	【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】 採取対象外とする。
80			-- *release*	/etc/*release*	ディストリビューション情報	redhat-releaseやsystem-release、os-releaseが採取されます。
81	装置情報収集ユーティリティ	-- ezclct	# [インストール先]/ezclct.sh ※[インストール先]は、 /etc/ezclct/ezclct_pathに格納されています。	装置情報収集ユーティリティの採取情報	装置情報収集ユーティリティ(Ez-clct)がインストールされている場合、Ez-clctを呼びだします。 【ESM/SA Ver.4.5.28-1以降】【ESM/SAS Ver.1.1.3-0以降】 ダンプを採取しないモードで、Ez-clctを呼びだします。	
82	ライブラリ情報	-- lib	(ディレクトリ生成)	(ディレクトリ)		
83		-- lib.info	#/bin/ls -al /lib	/lib/ファイルリスト		
84		-- libnec*	/lib	サーバーマネージメントドライバ関連情報		
85		`-- modules	(ディレクトリ生成)	(ディレクトリ)		
86		`-- necras	/lib	サーバーマネージメントドライバ関連情報		



No.	分類	採取先ディレクトリ(tgz内)	取得先(行頭“#”はコマンド)	説明	備考
87		-- lib64	(ディレクトリ生成)	(ディレクトリ)	
88		-- lib64.info	#/bin/ls -al /lib64	/lib64/ファイルリスト	
89		-- libnec*	/lib64	サーバーマネージメントドライバ関連	
90		-- modules	(ディレクトリ生成)	(ディレクトリ)	
91		-- necras	/lib	サーバーマネージメントドライバ関連	
92	OpenIPMI情報	-- OpenIPMI	(ディレクトリ生成)	(ディレクトリ)	
93		-- ipmitool.log	/usr/bin/ipmitool \$file:	ipmitoolを利用して取得した情報	ipmitoolは、BMCへのシンプルなコマンドラインインターフェイスを提供します。センサーデータリポジトリ(SDR)の読み込み、センサーの測定値の表示、システムイベントログ(SEL)の表示、フィールドリplaceサブルユニット(FRU)のインベントリ情報の表示、LAN設定パラメータの読み込みとセット、シャーシ電源の遠隔制御の実行機能を有します。Agentのサポート構成に影響せず、ipmitoolコマンドが存在した場合、採取します。 【ESM/SA Ver.4.3.0-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】以下のオプションを指定し、情報を採取します。 \$file = sdr list, sdr info, sdr dump sdr_dump.dat, fru list, sel list, sel info, chassis status, session info all
94			sdr list	センサーデータリポジトリ(SDR)のセンサ情報	
95			sdr info	センサーデータリポジトリ(SDR)のサマリ情報	
96			sdr dump sdr_dump.dat	センサーデータリポジトリ(SDR)のダンプをsdr_dump.datに出力	
97			fru list	保守交換ユニット(FRU)情報	
98			sel list	システムイベントログ(SEL)の内容	
99			sel info	システムイベントログ(SEL)の情報	
100			chassis status	サーバ筐体の電源状態に関する情報	
101			session info all	セッション情報	
102		-- sdr_dump.dat	/usr/bin/ipmitool sdr dump sdr_dump.dat	センサーデータリポジトリ(SDR)のダンプを出力	【ESM/SA Ver.4.3.0-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】情報を採取します。
103	Agent情報	-- opt	(ディレクトリ生成)	(ディレクトリ)	
104		--ft	/opt/ft/	/opt/ft/ディレクトリ	【ESM/SA Ver.4.2.26-1以降のFTサーバ】取得先のディレクトリ配下を採取します。
105		-- include	/opt/ft/include	libftヘッダファイル	【ESM/SA Ver.4.2.26-1以降のFTサーバ】取得先のディレクトリ配下を採取します。
106		-- lib	/opt/ft/lib	libft.soファイル	【ESM/SA Ver.4.2.26-1以降のFTサーバ】取得先のディレクトリ配下を採取します。
107		-- mibs	/opt/ft/mibs	ft制御ソフトウェアのMIBファイル	【ESM/SA Ver.4.2.26-1以降のFTサーバ】取得先のディレクトリ配下を採取します。
108		-- nec	(ディレクトリ生成)	(ディレクトリ)	
109		-- esmpro_diskmon	/opt/nec/esmpro_diskmon	HDDアクセス不可監視モジュールの情報	【ESM/SA Ver.4.4.10-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】情報を採取します。
110		-- esmpro_sa	(ディレクトリ生成)	(ディレクトリ)	
111		-- bin	/opt/nec/esmpro_sa/bin/	Agent実行ファイル	
112		-- data	/opt/nec/esmpro_sa/data/	Agentリソースファイル	
113		-- lib	/opt/nec/esmpro_sa/lib/	Agentライブラリファイル	
114		-- log	/opt/nec/esmpro_sa/log/	Agentログファイル	【ESM/SAS Ver.2.1.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.36-1以降】xrasutil -dumpを実施後のxrasutil.logを採取します。
115			# /usr/bin/pip -V # /usr/bin/pip list	Python関連モジュールのバージョン	【ESM/SAS Ver.2.0.0-0, 2.0.1-0】装置を問わず、採取します。 【ESM/SAS Ver.2.0.2-0～2.1.0-0】iLO対象装置の場合、採取します。 【ESM/SAS Ver.2.1.1-0以降】装置を問わず、採取しませ
116			# /bin/ls -l /usr/lib64/ilorest_chif.so	ilorest_chif.soの情報	【ESM/SAS Ver.2.0.0-0, 2.0.1-0】装置を問わず、採取します。 【ESM/SAS Ver.2.0.2-0～2.1.0-0】iLO対象装置の場合、採取します。 【ESM/SAS Ver.2.1.1-0以降】装置を問わず、採取しませ
117			(RHEL7系の場合) # /usr/bin/python2.7 --version # /usr/bin/python /opt/nec/esmpro_sa/bin/esmsrv.py  (RHEL6系の場合) # /opt/nec/esmpro_sa/python-2.7/bin/python2.7 --version # /opt/nec/esmpro_sa/python-2.7/bin/python2.7 /opt/nec/esmpro_sa/bin/esmsrv.py  (RHEL6系とRHEL7系は共通) #/bin/ls -l /opt/nec/esmpro_sa/lib/ilorest_chif.so	PythonバージョンとiLO対象装置のハードウェアログ	【ESM/SAS Ver.2.0.0-0, 2.0.1-0】装置を問わず、採取します。 【ESM/SAS Ver.2.0.2-0～2.1.0-0】iLO対象装置の場合、採取します。 【ESM/SAS Ver.2.1.1-0以降】装置を問わず、採取しません。  RHEL8系の場合: 該当情報を採集しません。 RHEL7系の場合: python2.7のインストール先は/usr。 RHEL6系の場合: python2.7のインストール先は/opt/nec/esmpro_sa/python-2.7。
			/bin/ls -l /etc/.NECiLO0 >> ls-UserInfo 2>&1 /bin/ls -l /etc/.NECiLO1 >> ls-UserInfo 2>&1	iLOアカウントファイルの有無・更新日	【ESM/SAS Ver.2.2.0-0】装置を問わず、採取します。
118		-- registry.tgz	/opt/nec/esmpro_sa/registry/	Agent内部データ	
119			/opt/nec/esmpro_sa/registry/HKEY_LOCAL_MACHINE/SOFTWARE/NEC/EXPSERVICE	エクスペレス通報サービスの設定情報	エクスペレス通報サービスの利用開始後、ユーザ情報が含まれます。
120		-- tools	/opt/nec/esmpro_sa/tools/	Agentツール	

No.	分類	採取先ディレクトリ(tgz内)	取得先(行頭“#”はコマンド)	説明	備考
121		`-- work	/opt/nec/esmpro_sa/work/	Agent稼働中の情報	
122		-- raidcmd	/opt/nec/raidcmd/\$file	Universal RAID Utilityの情報	【ESM/SA Ver.4.2.28-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 \$file=raidcmdファイルを採用します。
123		-- raidsrv	/opt/nec/raidsrv/\$file	Universal RAID Utilityの情報	【ESM/SA Ver.4.2.28-1以降】 以下のファイルを採用します。 \$file=raid-config.txt version.txt raidapi.so raidconn- storelib.so raidsrv raidsrv.msg 【ESM/SA Ver.4.3.6-3以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 取得先のディレクトリ配下を採用します。 \$file=*
124		-- report	/opt/nec/report/	他製品の通報テーブル(イベント)情報	Syslog監視機能で検知する他製品の通報テーブル(イベント)に関する情報です。
125	リソース情報	-- proc	(ディレクトリ生成)	(ディレクトリ)	
126		-- efi/systab	/proc/efi	uEFIの情報	【ESM/SA Ver.4.5.2-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 uEFIでは、/proc/efi/systabファイルを採用します。 (カーネル2.6.6まで)
127		-- \$DAEMONFILES	/proc/\$DAEMONFILES	稼働中のAgentプロセス情報	DAEMONFILES=`ntagent ESMps ESMIS ESMlogmon ESMcmn ESMsmsrv ESMlan ESMfilesys ESMpowsw ESMstrg ESMmlx ESMftreport ESMamvmain ESMntserver` 【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 `/proc/ESMntagent`のディレクトリ配下を追加で採用し ます。 【ESM/SA Ver.4.4.10-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 以下のディレクトリ配下を採用します。 /proc/\$DAEMONFILES (/porc/\$DAEMONFILES/task/pagemapを含まない) 【ESM/SA Ver.4.4.10-1以前】 以下のディレクトリ配下を採用します。 /proc/\$DAEMONFILES
128		-- \$file	/proc/\$file	システム状態情報	以下のファイルを採用します。 \$file = build cmdline cpuinfo devices diskstats dma execdomains filesystems interrupts iomem ioports loadavg locks mdstat meminfo misc modules mounts necras necrasdump partitions pci slabinfo stat swaps uptime version vmstat  【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】 buildとpci採取対象外とする。  【ESM/SAS Ver.2.1.2-0以降】 pnp0採集対象外とする。
129			/proc/build	--	【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】 採取対象外とする。
130			/proc/cmdline	カーネルの起動時に渡されるパラメーター	
131			/proc/cpuinfo	システムが使用するプロセッサのタイプ の情報	
132			/proc/devices	設定済みの様々なキャラクターデバイス及 びブロックデバイスの一覧	
133			/proc/diskstats	各ディスクデバイスのディスク I/O 統計情 報	
134			/proc/dma	使用中の登録済み ISA DMA チャンネルの 一覧	
135			/proc/execdomains	カーネルによって現在サポートされている 実行ドメイン と、それらがサポートする様々 なパーソナリティの一覧	
136			/proc/filesystems	カーネルが現在サポートしているファイルシ ステムタイプの一覧	
137			/proc/interrupts	x86 アーキテクチャー上における、IRQ ご との割り込み回数の一覧	
138			/proc/iomem	物理デバイス別のシステムメモリの現在の マップ	
139			/proc/ioports	デバイスとの入出力通信に使用される、現 在登録済みのポートリージョンの一覧	
140			/proc/loadavg	CPU 及び IO の経時的な負荷平均ならび に uptime やその他のコマンドが使用する 追加のデータ	
141			/proc/locks	カーネルによって現在ロックされているファ イルの一覧	
142			/proc/mdstat	マルチディスクの RAID 構成についての最 新の情報	
143			/proc/meminfo	システムの RAM の使用状況に関する情報	
144			/proc/misc	その他のメジャーデバイス (デバイス番号 10) 上に登録されているその他のドライ バーを一覧	
145			/proc/modules	カーネルにロードされる全モジュールの一 覧	
146			/proc/mounts	システムが使用中の全マウントの一覧	
147			/proc/necras	サーバマネージメントドライバの情報	
148			/proc/necrasdump	サーバマネージメントドライバのダンプ	
149			/proc/partitions	パーティションブロックの割り当て情報	
150			/proc/pci	カーネルの初期化時に見つかったすべて の PCI デバイスの一覧	【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】 採取対象外とする。
151			/proc/slabinfo	スラブレベルにおけるメモリ使用状況に関 する詳しい情報	
152			/proc/stat	前回の再起動以降のシステムに関する 様々な異なる統計	
153			/proc/swaps	swap 領域と使用率の情報	
154			/proc/uptime	前回の再起動から経過した時間に関する 詳細情報	
155			/proc/version	カーネルのバージョン、カーネルのコンパ イルに使用した gcc、及びカーネルのコンパ イルの時刻	
156			/proc/vmstat	仮想メモリーの様々な統計情報	



No.	分類	採取先ディレクトリ(tgz内)	取得先(行頭“#”はコマンド)	説明	備考
157		-- \$dir/	/proc/\$dir/	システム状態情報	IPアドレス、ホスト名、ドメイン名が格納されています。 【ESM/SA Ver.4.4.10-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 以下のディレクトリ配下を採取します。 \$dir = bus/pci disk_manager driver ide irq net parport rd scsi scsi.mtbf se self sys sysvipc tty 【ESM/SA Ver.4.4.10-1以前】 以下のディレクトリ配下を採取します。 \$dir = bus disk_manager driver ide irq net parport rd scsi scsi.mtbf se self sys sysvipc tty 【ESM/SA Ver.4.2.26-1以降のFTサーバ】 以下のディレクトリ配下を採取します。 disk_manager driver irq net parport rd scsi scsi.mtbf se self sys sysvipc tty 【ESM/SA Ver.4.5.12-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 /proc/sys配下の“base_reachable_time”ファイルが採取対 象外とする。  【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】 bus、disk_manager、driverとse採取対象外とする。
158			/proc/bus	インストールされている各バス用にサブディ レクトリがある。	【ESM/SA Ver.4.2.26-1～Ver.4.4.10-1の場合】 取得先のディレクトリを採取します。  【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】 採取対象外とする。
159			/proc/bus/pci	PCI バス・インストールされているデバイス・ デバイスドライバの情報が書かれた仮想 ファイル	【ESM/SA Ver.4.4.10-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 取得先のディレクトリ配下を採取します。
160			/proc/disk_manager	--	【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】 採取対象外とする。
161			/proc/driver	カーネルが使用する特定のドライバについ ての情報	【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】 採取対象外とする。
162			/proc/ide	各 IDE チャンネルとそれに取り付けられてい る各デバイスごとにディレクトリがあり	【ESM/SA Ver.4.2.26-1より前のFTサーバ】 取得先のディレクトリ配下を採取します。
163			/proc/irq	割り込み要請 (IRQ) 関連情報	
164			/proc/net	さまざまなネットワークについての擬似ファ イルで、それぞれがネットワーク層の各種 の状態を与える。	【ESM/SA Ver.4.6.0-1以降】リンク先の場合にもファイルを 収集とする。
165			/proc/parport	parport に扱うように指定したパラレルポー ト それぞれに対応するサブディレクトリがあり ます	
166			/proc/rd	RAIDコントローラの情報	
167			/proc/scsi	認識されたSCSIデバイスすべての一覧が 保存されます	
168			/proc/scsi.mtbf	SCSIデバイスのmtbf情報	
169			/proc/se	--	【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】 採取対象外とする。
170			/proc/self	実行中のプロセスへのリンクです	
171			/proc/sys	実行カーネルの異なる側面を制御するそれ ぞれ異なった サブディレクトリが含まれて います。	
172			/proc/sys/base_reachable_ti me	近傍のホストがみつかると、そのエントリー は base_reachable_time/2 から 3*base_reachable_time/2 の間のランダム な値の時間、有効であるとみなされる。エ ントリーの有効性は、高位のプロトコルから ポジティブなフィードバックを 受け取ると延 長される。デフォルトは 30 秒。	【ESM/SA Ver.4.5.12-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 採取対象外とする。
173			/proc/sysvipc	System V IPCリソースに関する情報が含ま れています。	
174			/proc/tty	システム上で利用可能な現在使用されてい るttyデバイスに関する情報が格納されてい ます。	
175		-- nechwid	/proc/nechwid	機種判別情報	
176		-- %d/	/proc/%d	各プロセスの稼動情報	%d PIDのディレクトリ配下を採取します。 【ESM/SA Ver.4.2.26-1以降のFTサーバ】 情報を採取しません。
177		`-- ft/	/proc/ft	FTサーバ情報	
178		-- root	(ディレクトリ生成)	(ディレクトリ)	
179		-- bash_history	/root/.bash_history	実行したコマンド履歴	実行したコマンドの履歴情報が含まれています。
180		-- bash_profile	/root/.bash_profile	bash情報	
181		-- bashrc	/root/.bashrc	bash情報	
182		-- btime	/proc/stat	システム起動後の日数	【ESM/SA Ver.4.4.48-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 /proc/statからbtimeの値を取得すると、以下のdateコマ ンドを使用して、システム起動後の日数を自動計算する。 # date -d “Jan 1 1970 00:00 UTC + \$BTIME seconds”
183		`-- root.log	/bin/date	日付を記録	
184		-- selinux	/selinux/booleans/	SELinux情報	セキュリティポリシー情報が格納されています。
185	システム稼動情報	-- sh	(ディレクトリ生成)	(ディレクトリ)	
186		-- chkconfig--list	# /sbin/chkconfig --list	自動起動レベル	【ESM/SA Ver.4.5.16-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
187		-- cimconfig	# /usr/sbin/cimconfig	tog-pegasusの設定情報	【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
188		-- cimprovider	# /usr/bin/cimprovider	tog-pegasusのプロバイダ登録情報	【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。 tog-pegasusのプロバイダ登録情報を含んでいます。
189		-- class--list	# /usr/bin/wbemcli	tog-pegasusのネームスペース root/ESMPRO/AS下のデータ	【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
190		-- CIM_UnixLocalFileSystem	# /usr/bin/wbemcli	ローカルホストのCIMクラスEnumerate結果	【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
191		-- df-i	# /bin/df -i	ファイルシステムのinode利用状況	
192		-- df-a	# /bin/df -a	ディスク使用状況	「-nas」オプションを指定した場合、情報を採取しません。
193		-- dmesg	# /bin/dmesg	カーネルメッセージを出力	
194		-- dmidecode	# /usr/sbin/dmidecode	BIOSから入手可能な DMI データのダンプ を出力	【ESM/SA Ver.4.2.24-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
195		-- env	# /usr/bin/env	環境変数	環境変数 HOSTNAME,USER情報を含んでいます。

No.	分類	採取先ディレクトリ(tgz内)	取得先(行頭“#”はコマンド)	説明	備考
196		-- repository_class	/var/lib/Pegasus/repository /root#ESMPRO#AS	tog-pegasusのネームスペース root/ESMPRO/AS下のデータ	【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
197		-- repository_interop	/var/lib/Pegasus/repository /root#interop	tog-pegasusのネームスペースroot/interop 下のデータ	ネームスペースroot/interop下のクラスとインスタンス情報が格納されています。 【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
198		-- repository_PG_InterOp	/var/lib/Pegasus/repository /root#PG_InterOp	tog-pegasusのネームスペース root/PG_InterOp下のデータ	ネームスペースroot/PG_InterOp下のクラスとインスタンス情報が格納されています。 【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
199		-- ethtool-*	# /sbin/ethtool または # /usr/sbin/ethtool	ネットワーク情報	IPアドレス情報が格納されています。 【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.28-1以降】 情報を採取します。  【ESM/SA Ver.4.5.30-6以降】【ESM/SAS Ver.2.1.0-0以降】 【ESM/SA Ver.4.5.36-1以降】 /sbin/ethtoolが存在しない場合、/usr/sbin/ethtoolを使用します。
200		-- ESM_*	# /usr/bin/wbemcli	ローカルホストのCIMクラスEnumerate結果	「-auth」オプションを指定した場合、情報を採取します。 【ESM/SAS Ver.1.1.0-0以降】 ESM_StorageLifeSpan情報を追加採取します。  【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】 ESM_Alive情報を追加採取します。
201		-- fdisk または    -- parted	# /sbin/fdisk -l または # /usr/sbin/parted -s -l	ディスク情報	「-nas」オプションを指定した場合、情報を採取しません。
202		-- free	# /usr/bin/free	メモリの使用状況	
203		-- ftsmaint_ls	# /opt/ft/bin/ftsmaint ls	簡単なFTCのCPU、PCI、温度、電圧、ファン等情報	【ESM/SA Ver.4.2.26-1以降のFTサーバ】 情報を採取します。
204		-- ftsmaint_lsLong	# /opt/ft/bin/ftsmaint lsLong	詳しいFTCのCPU、PCI、温度、電圧、ファン等情報	【ESM/SA Ver.4.2.26-1以降のFTサーバ】 情報を採取します。
205		-- hdparm -I {ディスク名} (例: hdparm -I sda)	# hdparm -I ディスク名	ストレージに関する情報	【ESM/SA Ver.4.5.16-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
206		-- ifconfig	# /sbin/ifconfig または # /usr/bin/ifconfig	ネットワーク設定	IPアドレス情報が格納されています。 【ESM/SA Ver.4.5.30-6以降】【ESM/SAS Ver.2.1.0-0以降】 【ESM/SA Ver.4.5.36-1以降】 /sbin/ifconfigが存在しない場合、/usr/bin/ifconfig を使用します。
207		-- ipcs	# /usr/bin/ipcs	IPC状態	
208		-- iptables-list	# iptables --list	パケットフィルタ情報	パケットフィルタリングの情報を含んでいます。 【ESM/SA Ver.4.5.14-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 /sbin/lsmoelにip_tablesが存在する場合のみ採取します。
209		-- lsmod	# /sbin/lsmoel	移動中のドライバ情報	
210		-- ls-openwsman	# /bin/ls -l /etc/openwsman	/etc/openwsmanのファイルリスト  openwsmanサービスが使用しているsblim-sfccのライブラリのリンク情報	【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 証明書作成情報の確認用にファイルリスト情報を採取します。 【ESM/SAS Ver.1.1.1-0以降】 openwsmanサービスの動作確認用にリンク情報を採取します。
211		-- ls-providers	# /bin/ls -l /usr/lib64/Pegasus/provider s	/usr/lib64/Pegasus/providersのファイルリスト	/usr/lib64/Pegasus/providersのファイルリストが格納されています。 【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
212		-- Linux_Processor	# /usr/bin/wbemcli	ローカルホストのCIMクラスEnumerate結果	【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
213		-- netstat	# /bin/netstat -pa	ネットワーク情報	ネットワーク接続、経路テーブル情報等を含んでいます。 RHEL8.0またはOL8以外場合情報を採集します。
		-- ss-ap	# /usr/sbin/ss -ap	ネットワーク情報	ネットワーク接続、経路テーブル情報等を含んでいます。 【ESM/SAS Ver2.1.2-0以降】 RHEL8.0またはOL8の場合情報を採集します。
214		-- ps	# /bin/ps	プロセス状態	
215		-- rpm-\$pack.info	# /bin/rpm -qil \$pack	ESMのパッケージ情報	\$packは以下を含むpackage Esm/nec/esmpro_diskmon
216		-- rpm-qa	# /bin/rpm -qa	RPM/パッケージ情報	パッケージ情報を含んでいます。
217		-- runlevel	# /sbin/runlevel	システムRun Level	
218		-- sar	# /usr/bin/sar -A	移動中のシステム情報	【ESM/SA Ver.4.5.24-2】【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】 【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】 /usr/bin/sarコマンドが存在しない場合、sar情報を採取の対象外とします。
219		-- sh.log	# /bin/date	日付を記録	
220		-- snmpd.readconfig	# /usr/sbin/snmpd -D -H	snmpd情報	
221		-- snmpwalk {コミュニティ名} または    -- snmpwalk.comm{1〜}	snmpwalk の結果	ローカルホストのsnmpwalk結果	snmpd.confに設定されているコミュニティ名毎にMIB情報を取得します。ホスト名、IPアドレス情報を含んでいます。 【ESM/SA Ver.4.2.26-1以降のFTサーバ】 ID.1.3.6.1.4.1.458(stratus)を採取します。 【ESM/SA Ver.4.5.24-2】【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】 【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】 採取結果を格納するファイル名を変更する。 1) 採取結果を格納するファイル名は連番(1オリジン)とする。 例) snmpwalk.comm1.1 2) コミュニティ名と連番を紐付けたファイル(txt)を作成する。 例) snmpcomm.txt ----- comm1 public
222		-- sysctl	# /sbin/sysctl -a	kernel情報	
223		-- systemctl-list-unit-files	# /usr/bin/systemctl list-unit-files	systemdモードの各サービスunit filesの状況	【ESM/SA Ver.4.5.12-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
224		-- systemctl-a	# /usr/bin/systemctl -a	systemdモードの各サービス詳しい情報	【ESM/SA Ver.4.5.12-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
225		-- semodule	# /usr/sbin/semodule -l	SELinuxの設定状況	SELinuxの設定を含んでいます。



No.	分類	採取先ディレクトリ(tgz内)	取得先(行頭“#”はコマンド)	説明	備考
226		-- *_stack	# /usr/bin/gstack	SAで各プロセスのstack情報	保存されたファイル名はPIDを含んでいます。 【ESM/SA Ver.4.4.48-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。 【ESM/SA Ver.4.5.20-2】【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】 【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】 同じ名前のプロセスが複数存在する場合、すべてのstack 情報を採取します。
227		-- top	# /usr/bin/top -n 1 -b	稼働中のシステム負荷情報	【ESM/SA Ver.4.4.48-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
228		-- uname	# /bin/uname -a	システム情報	
229		-- cimsb-ls     -- cimsb-lf     -- cimsb-lh	# /usr/bin/cimsb -ls # /usr/bin/cimsb -lf # /usr/bin/cimsb -lh	サブスクリプション情報	【ESM/SA Ver.4.5.32-1以降】【ESM/SAS Ver.2.0.6-0以降】 情報を採取します。
230		-- firewall-cmd-list-all	# /usr/bin/firewall-cmd -- list-all	firewalld情報	【ESM/SA Ver.4.5.32-1以降】【ESM/SAS Ver.2.0.6-0以降】 情報を採取します。
231		-- ps-eo	# /bin/ps -eo lstart,pid,args   grep -e esm -e rpcbind -e portmap -e cimserver -e openwsmand -e snmpd   grep -v grep	実際にSAS関連サービス(SASサービス、 rpcbind、portmap、cimserver、 openwsmand、snmpd)の起動順序	【ESM/SAS Ver.2.1.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.36-1以降】 情報を採取します。
232		-- systemd-analyze-plot	# /usr/bin/systemd-analyze plot	システムに設定するサービスの起動順序	【ESM/SAS Ver.2.1.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.36-1以降】 情報を採取します。
233		-- openssl-version	# /usr/bin/openssl version	opensslのバージョンの採取	【ESM/SAS Ver.2.1.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.36-1以降】 情報を採取します。
		-- semanage	# /usr/sbin/semanage permissive -l	SELinuxの設定の採集	【ESM/SAS Ver.2.2.5-1以降】【ESM/SA Ver.4.6.1-1以降】 情報を採取します。
234	デバイス情報	-- sys.tgz	/sys/	デバイス情報	【ESM/SA Ver.4.5.2-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 uEFIでは、/sys/firmware/efi/systabファイルを採用します。 (カーネル2.6.7以降) 【ESM/SA Ver.4.5.12-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 /sys/devices配下の“power/level”と“power1_average”、 “power1_average_interval”ファイルが採取対象外とする。  【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】 /sys/devices/system/edac/採取対象外とする。  【ESM/SAS Ver.2.2.2-0(Nova2.2D OL8.3の対応物件、SAS のパッケージに含まれない、SASインストールした後、スクリ プトで置換する)】【ESM/SAS Ver2.2.5-0以降】 /sys/devices配下のデータを採集しない。
235	usrプログラム	-- usr	(ディレクトリ生成)	(ディレクトリ)	
236		-- X11R6	# /bin/ls -al /usr/X11R6/lib	/usr/X11R6/libファイルリスト	【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】 採取対象外とする。
237		-- X11R7	# /bin/ls -al /usr/X11R6/lib64	/usr/X11R6/lib64ファイルリスト	【ESM/SAS Ver.1.3.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.30-1以降】 採取対象外とする。
238		-- DianaScopeAgent	/usr/DianaScopeAgent/agen t.* /usr/DianaScopeAgent/user s/*	DianaScopeAgent情報 ESM/SA-ESMPRO/SM通信に 使用するLANのIPアドレス、MACアドレス	IPアドレス情報、MACアドレス情報を含んでいます。
239		-- lib	# /bin/ls -al /usr/lib	/usr/lib/ファイルリスト	
240		`-- systemd/system	/usr/lib/systemd/system/*	systemdモードの各サービスunit files	【ESM/SA Ver.4.5.12-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
241		`-- lib64	# /bin/ls -al /usr/lib64	/usr/lib64/ファイルリスト	
242	システムログ情報	-- var	(ディレクトリ生成)	(ディレクトリ)	
243		-- log	/var/log/\$file	システムログ	以下のファイルを採用します。 \$file = boot.log cron messages wsmmand.log* ホスト名、IPアドレス情報等を含んでいます。 【ESM/SA Ver.4.4.48-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 vmkernelを追加で採取します。 【ESM/SAS Ver.2.1.0-0以降】【ESM/SA Ver.4.5.36-1以降】 wsmmand.log*を追加で採取します。
		-- sa	/var/log/sa/*	sysstatでサーバのCPUやメモリ、DISK IOな どの様々な情報を採集し、saに保存されて いる。	【ESM/SA Ver.4.2.38-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】
244		-- raidsrv	/var/log/raidsrv/*	Universal RAID Utilityのログファイル採取	【ESM/SA Ver.4.2.28-1以降】 以下のファイルを採用します。 raidapi.log raidapi.log.bak raidconn-storelib.log raidconn- storelib.log.bak raidsrv.log raidsrv.log.bak raid.log 【ESM/SA Ver.4.3.6-3以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 取得先のディレクトリ配下を採用します。
245		-- Custom_Monitor	ESMamsadmにあるSyslogで 設定する追加監視対象	Syslog監視機能の追加監視対象のファイル	【ESM/SA Ver.4.4.48-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
246		`-- File_Monitor	ESMamsadmにあるSyslogで 設定するファイル監視対象	Syslog監視機能のファイル監視対象のファ イル	【ESM/SA Ver.4.4.48-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 情報を採取します。
247		-- run	/var/run/	稼働中のシステム情報	【ESM/SA Ver.4.4.0-1以降】【ESM/SAS Ver.1.0.0-0以降】 /var/run配下のファイルだけを採取します。 【ESM/SA Ver.4.4.0-1より前】 /var/run配下のディレクトリすべてを採用します。
248		-- spool/cron	/var/spool/cron	定期的に行う作業情報	
249		`-- net-snmp または `-- ucd-snmp	/var/net-snmp/ または /var/ucd-snmp/	snmpd/パッケージのデータファイル	
250		-- run	/run/	稼働中のシステム情報	【ESM/SA Ver.4.6.1-1以降】【ESM/SAS Ver.2.2.5-1以降】 RHEL9の場合/run配下のファイルだけを採取します。